

RS 事業等の成果を畜産振興につなげる野生動物研究シンポジウム 「野生動物対策から畜産振興を考える」 開催要領

1. 趣 旨

近年、豚熱や高病原性鳥インフルエンザの発生に伴い、家畜疾病による畜産業への影響は甚大なものとなっている。これらの疾病への対策として、農場における飼養衛生管理の徹底が不可欠であり、野生動物の農場への侵入防止や捕獲の強化などの対応も必要となっていることから、農研機構畜産研究部門はイノシシなどの野生動物の生態行動にかかる研究機関として、畜産業に関する複数の研究開発プロジェクトに参加し、課題の解決に取り組んでいる。

野生動物への対策の実施においては、農場や畜産業の従事者だけではなく、狩猟者や自治体職員、登山者や食肉の消費者など、多くの人々の理解と協力が求められる。本シンポジウムでは農林水産省のレギュラトリーサイエンス事業を中心に、地方競馬全国協会の畜産振興事業など、複数の研究開発プロジェクトにまたがる野生動物研究の成果や進捗状況を網羅的に整理して多くの人たちと共有する。それにより、地域においてこれらの成果を活用した野生動物対策の導入や研究上の課題解決に向けた検討が進展し、被害の拡大防止対策がより適切に講じられることによって、畜産振興への寄与を目指すものである。

2. 開催日時

令和8年3月5日（木） 10時から16時

3. 開催場所

農林水産省7階講堂（東京都千代田区霞が関1-2-1）
対面とオンラインのハイブリッド開催（Webexを予定）

4. 開催者

主催：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
後援：一般社団法人大日本猟友会

5. 参集範囲

自治体、狩猟者団体、畜産業関係者および野生動物研究や畜産振興に関心のある者
関係機関、関係団体を通じて周知を図る

6. プログラム

別紙の通り

7. 併設展示

会場において、研究分担者である企業の成果等の展示を併設する
参加企業：アキレス株式会社、株式会社環境管理センター、タカラバイオ株式会社、株式会社パルス、株式会社スカイシーカー

8. 申し込み方法と連絡先

申込方法：農研機構ホームページから事前申し込み

https://prd.form.naro.go.jp/form/pub/naro01/wild_animals_symp



(申込フォーム)

連絡先：農研機構 畜産研究部門 動物行動管理研究領域

lw_symposium@ml.affrc.go.jp

プログラム

主催者あいさつ	10:00 - 10:10
後援者あいさつ	10:10 - 10:20
レギュラトリーサイエンスとその役割	10:20 - 10:40

講演（午前）

1) 農林水産省レギュラトリーサイエンス事業「野生イノシシにおけるアフリカ豚熱防疫措置の具体化に関する緊急実証研究」

- 1 イノシシ死体の適正処理方法の構築 10:40 - 11:10
農研機構畜産研究部門 平田滋樹、藤本竜輔、小泉亮子、遠藤友彦
- 2 豚熱、アフリカ豚熱の高感度簡易検査キットの開発 11:10 - 11:30
農研機構動物衛生研究部門 西 達也、生澤充隆

2) 地方競馬全国協会 畜産振興事業「経ロワクチン散布技術効率化事業」

- 1 効果的なイノシシの誘引と豚熱経ロワクチン散布方法の確立 11:30 - 11:50
農研機構畜産研究部門 平田滋樹、藤本竜輔、小泉亮子、遠藤友彦

昼休憩・併設展示コーナー 11:50 - 13:30

講演（午後）

3) 農林水産省レギュラトリーサイエンス事業「新たな感染症の出現に対してレジリエントな畜産業を実現するための家畜感染症対策技術の開発」

- 1 畜産現場における哺乳類の活動とその把握 13:30 - 13:50
農研機構畜産研究部門 平田滋樹、藤本竜輔、小泉亮子、遠藤友彦、加藤博美

4) 農林水産省レギュラトリーサイエンス事業「豚熱清浄化及びアフリカ豚熱防疫体制強靱化のための技術開発促進プロジェクト」

- 1 家畜伝染病の防疫と野生動物 13:50 - 14:10
農研機構動物衛生研究部門 山本健久、早山陽子
- 2 農場への野生動物の侵入リスクの検証 14:10 - 14:25
農研機構畜産研究部門 平田滋樹、藤本竜輔、小泉亮子、遠藤友彦
- 3 石川県における豚熱経ロワクチン散布の現状 14:25 - 14:40
石川県南部家畜保健衛生所 寺尾 彩
- 4 イノシシの生態と豚熱伝播様式の解明にむけて 14:40 - 14:55
宇都宮大学 小寺祐二

休憩	14:55 - 15:10
総合質疑	15:10 - 15:55
閉会のあいさつ	農研機構 動物衛生研究部門 15:55 - 16:00